

夜明けが近い日口極東貿易

望月 喜市

(北海道大学名誉教授)



「モスクワは極東の発展を約束する」と書かれたサハリン大学付属研究所前の大看板

プロローグ・モスクワで「21世紀劇場」に行った初夢を見た。出し物は「ユーラシア国家の夜明け」だった。第1幕「欧州の家」に引き続き、第2幕「ロシア極東の場」第1場「東京―ウラジオ」の幕が開いたところで目が覚めた。舞台の背景に飾られたプーチン大統領の大看板がくつきり記憶に残っていた。

1) 極東会議の創設

私が極東に行った時期（2月末から3月初旬）は、ロシアのトップリーダーが相次いで極東を訪問した時期と重なった。つまり1月28日にはプーチン大統領がインド訪問の帰途ウラジオストツクに立ち寄ったし、その1ヵ月後（3月1日）には、フラトコフ首相が日本からウラジオ入

りしている。この2回の訪問は、昨年12月20日の安全保障会議（モスクワ）での極東（発展）国家委員会設置（委員長フラトコフ首相）を受け、現地の首長と意見をすり合わせるためのものであった。

委員構成は次のとおり・委員長―フラトコフ首相、副委員長―経貿省のグレフ、極東連邦管区大統領全権代表カミリ・イスハコフ、シベリア連邦管区大統領全権代表アナトリ・クワシン。その他、この委員会には、地元の全ての知事と一連の関連連邦省長官がメンバーとして入る。事務局長は、経貿省次官ビタリ・サベエフである。

この2つの会議では、極東発展に関する重要な戦略が検討された。1つは、極東自身の足腰を鍛える方策、もう1つはアジア太平洋経済圏への参入戦略の一環としてのAPERC首脳会議の極東誘致（2012年）問題だった。会議では、沢山の建設プロジェクト構想が検討された。ポストリーチヌイ港の整備拡充、輸出志向の加工工場（製油、石油化学など）の建設、空港の拡充、橋梁建設、コンGRES用高級ホテルの建設、海洋水族館コンプレックス（海洋生物学研究所、研究基地、ホテル、海洋スポーツ・保養ゾーンなど）や太平洋国際大学創設など。日本企業がこうした大規模建設工事を

受注する可能性は大きいと思う。

2) 「第2回日口投資会議」開催

ウラジオ会議の直前に東京で「第2回日口投資会議」が開催され、百人超のロシア側首相同行団が来日した。

最大の狙いは、日本からの投資拡大と技術移転の加速であった。貿易や投資拡大に向けた行動計画策定や、サハリン2への欧州復興開発銀行の融資の働きかけ、北海道―サハリン間の光ファイバー敷設による高速大容量通信の拡大などで合意した。自動車メーカーのロシア進出も目立つ。サンクトペテルブルグではトヨタ自動車の工場が今年12月に稼働、日産自動車、三菱自動車工業、いすゞ自動車も生産拠点をめぐりへ動く。口側は自動車以外でも高度技術を伴う産業誘致を進め、エネルギー依存からの脱却を目指す構え。2006年は、日口貿易と対口投資、及び日本企業・銀行の現地進出の急速な拡大を鮮明にした画期的な年であった。この年の日口貿易総額は前年比35%増の1兆5951億円（約135億ドル）であった。

現在の日口貿易は、ロシアが欧州方面への石油・ガスの輸出で獲得し

た外貨を利用して、日本の自動車をはじめ輸入するといった図式を取っているが、近い将来を展望すると、ロシア側は石油・ガスを対日輸出し、その獲得外貨で日本の一般機械・輸送機械を輸入する図式に転換すると考えられ、日ロ貿易は飛躍的に拡大しよう。

注：ロシアの2005年の全輸出高は2412・19億ドルであったが、そのうち、燃料・エネルギーの輸出高は、1541・48億ドル(63・9%)〔出所：ロシア東欧貿易調査月報2006年9-10月号、p.5〕

一方、日本の06年の対ロ輸出のうち、自動車(乗用車、バス・トラック、中古車)のシェアは71・4%に達する。

3) 石油・ガス主導のサハリン経済

下の表は、今後3年間を見通したサハリンでの石油・ガスの生産高の予測である。

2010年にはLNGで1721万ト、石油で2040万トンが産出されるという。このうちどれだけを日本が買い付けるかは不明だが、すでに日本の大手電力、ガス会社がかんり量のLNG買付け契約を結んでいる。

このほか、東シベリアー太平洋石

油パイプ建設工事も着々と進行している。パイプ建設がナホトカ湾に到着する以前でも、石油の鉄道輸送で約1000万トン程度が2、3年後にはナホトカ湾のコジミノ港から輸出される可能性は高い。このように日ロの極東貿易が飛躍的に高まる時期は眼前に迫っている。

4) サハリンの消費生活

サハリン経済は石油・ガス関連産業主導で発展軌道を驀進しているが、それによって豊かさを享受しているのはごく一部の富裕層に過ぎない。好景気によるインフレが一般家

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
天然ガス(10億m)	0.9	4.9	15.3	22.2	24.1
LNGに換算	64万ト	350万ト	1093万ト	1586万ト	1721万ト
A欄(億円)	219	1197.8	3740.6	5427.8	5889.8
石油(百万t)	7.2	16.8	17.2	20.2	20.4
B欄(億ドル)	26.5	61.8	63.3	74.3	75.1

出所：Russian Academy of Sciences Economic Research Institute, "Economic Cooperation Between the Russian Far East and Asia-Pacific Countries" p.84
A欄：2005年の日本の輸入LNG価格から逆算
B欄：バレル換算し50ドル/バレルで総額を計算(億ドル)



閉店しロシア人に店を譲る中国人商人



暖冬のユジノ市、駅前広場

庭を襲っている。ホテル代もうなぎのぼりだ。今年になって発令された非登録外国人小売商締め出し政策は、中国人リノク(市場で格安商品を買い付けていた庶民の懐を直撃した。一方、富裕層を当て込んだ小売市場や外食産業は、華やかな広告とともに、売上をのばしている。レジ係



キオスクが立ち並ぶメインストリート



テナントビルは、広告でびっしり

は大量の食品や日用雑貨の買付け客で目が回る忙しさだ。テナントビルの廊下や階段には、壁一面に広告がぎっしり詰まっている。日ロ貿易は、対欧州向けと対極東向けの両輪で拡大を続ける時期を迎えたとと言える。(了)